



鶴見資源選別センター再整備事業について

- ・ 資源循環局適正処理計画部施設課



明日をひらく都市
OPEN X PIONEER

- ・ 2024年12月25日

鶴見資源選別センターの再整備について



明日をひらく都市
OPEN X PIONEER

- 令和11年度中の稼働を目指しています
- 再整備にあたっては、可能な限り、機械化し、選別作業の効率化を図ります
- 再整備事業については、本市の支出額平準化のため、民間資金を活用した整備を検討しています

本事業で期待すること



明日をひらく都市
OPEN X PIONEER

- ・ AI や I o T などの最新技術を活用した選別作業の効率化
- ・ イニシャルコスト・ランニングコストの低減
- ・ 施設整備に伴い民間資金を活用することによる本市支出額の平準化
- ・ 事業期間中、安定的・継続的に処理できる体制
- ・ 市内中小企業の活用などによる市内経済への貢献
- ・ 地域の環境教育における貢献

本市が重視する項目

	項目	要件
事業全般に関する内容	コスト	運営期間中の年間の財政負担が平準化され、かつ事業費（建設・運営）が可能な限り低減されること ※建設期間中は交付金を除き、事業者に対する支出の想定なし
	地域貢献	環境教育・市内中小企業の活用
	付加価値	循環経済、脱炭素への寄与
建設に関する内容	竣工時期	令和11年度稼働（手続き含む）
	処理能力	67.4t/日 以上
	選別にかかる設備	機械化・自動化
	建物構造	機器のメンテナンスや更新等が容易な構造
運営に関する内容	運営期間	20年
	資源物受入時間	8：15～16：30（月～土、祝日含む）
	勤務形態	週休2日制
	安定処理	計画的な保全による安定稼働
	他施設の処理支援	本市他の選別施設のトラブル時における処理支援
	事業の継続性	事業者及び事業キャッシュフローの継続性
	処理後の品目の品質	既存施設と同等以上

資源選別センターの役割



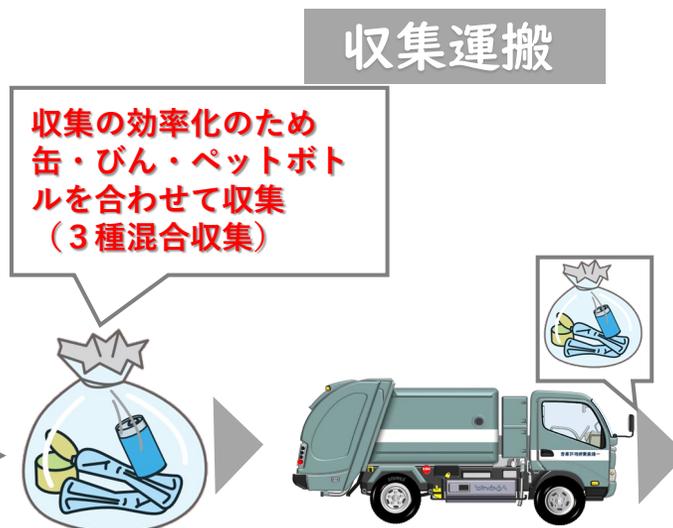
明日をひらく都市

OPEN X PIONEER

①家庭：排出



②委託業者：収集運搬



資源選別センター (事業の対象施設)

③委託業者：選別作業



アルミ缶・スチール缶
・びん・ペットボトル
・異物に選別

④買取業者再資源化 委託業者

リサイクル

アルミ缶



スチール缶



びん



ペットボトル



本市が想定する事業概要

想定する事業概要



明日をひらく都市

OPEN X PIONEER

	内容
事業内容	<ul style="list-style-type: none">・鶴見リサイクルプラザの解体※・新施設の建設※ (土木建築・建築機械・建築電気・プラント機械・プラント電気・計装設備)・新施設の運営・維持管理 <p>※設計、アセス(事業方式による)等を含む</p>
事業期間	建設3年+運営20年(予定)
竣工年度	令和11年度中(予定)

事業予定地（鶴見リサイクルプラザ解体跡地）



明日をひらく都市
OPEN X PIONEER



所在:横浜市鶴見区末広町1丁目15-1



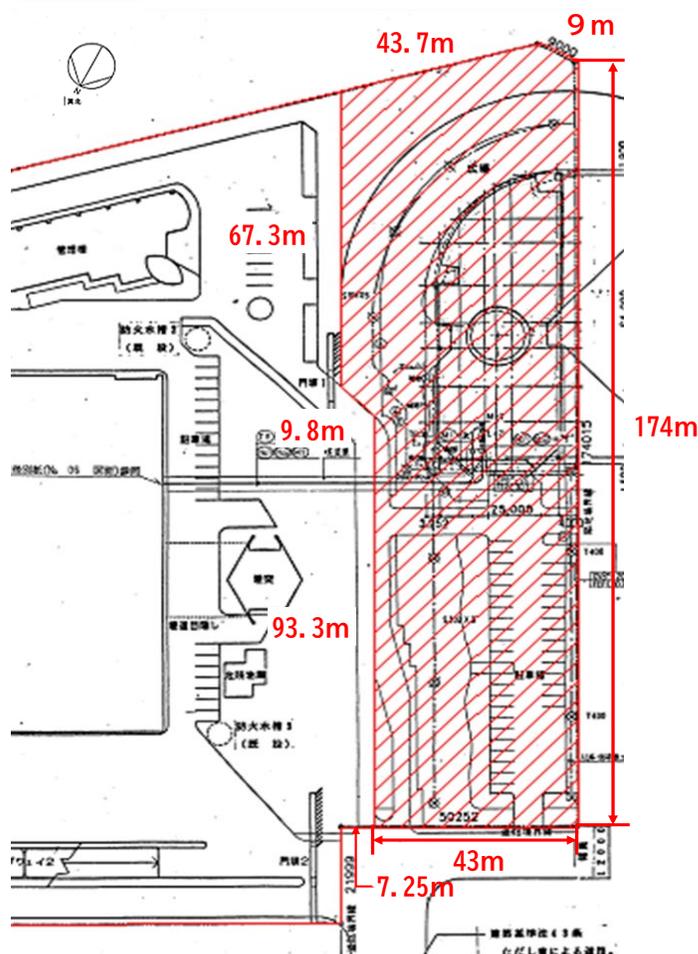
出典:国土地理院ウェブサイト

解体建物の概要（鶴見リサイクルプラザ）



構造:地上1階 鉄骨造
建築面積:1,554.56m²
延床面積:1,433.75m²

事業予定地の概要



 : 建設予定地整備範囲

項目	内容
建築可能面積	約8,000m ²
土地利用規制	<ul style="list-style-type: none"> ・都市計画区域 : 都市計画区域内 ・用途地域 : 工業専用地域 ・都市施設 : ごみ焼却場 ・地区計画 : 臨港地区 ・建ぺい率 : 60% ・容積率 : 200% ・防火地区 : なし ・高さ制限 : なし ・日影規制 : なし ・地区計画 : 非該当
ユーティリティ条件	<ul style="list-style-type: none"> ・電気 : 敷地境界から引き込みを想定 ・用水 : 敷地境界から引き込みを想定(上水) ・燃料 : 都市ガス(25A低圧管) ・排水 : 下水道へ放流 ・雨水 : 雨水枡に放流 ・電話・通信 : 敷地境界から引き込みを想定

新施設の概要



明日をひらく都市
OPEN X PIONEER

項目	内容
処理能力	67.4t/日 以上
年間搬入量 (予定)	21,000t/年
年間稼働日数 (予定)	310日
処理対象物	缶・びん・ペットボトル(混合収集)
附帯施設	計量機、受入ヤード、成型品ストックヤード、残渣ストックヤード、見学者用諸室

処理対象物の処理方法



明日をひらく都市
OPEN X PIONEER

品目	処理方法	参考:圧縮後の形状(既存施設)
缶	異物を除去後、アルミ缶とスチール缶に選別し、圧縮	700×510×150~200mm
びん	異物を除去後、無色、茶色、その他の色に選別	—
ペットボトル	異物を除去後、圧縮梱包	1,000×1,000×1,000mm

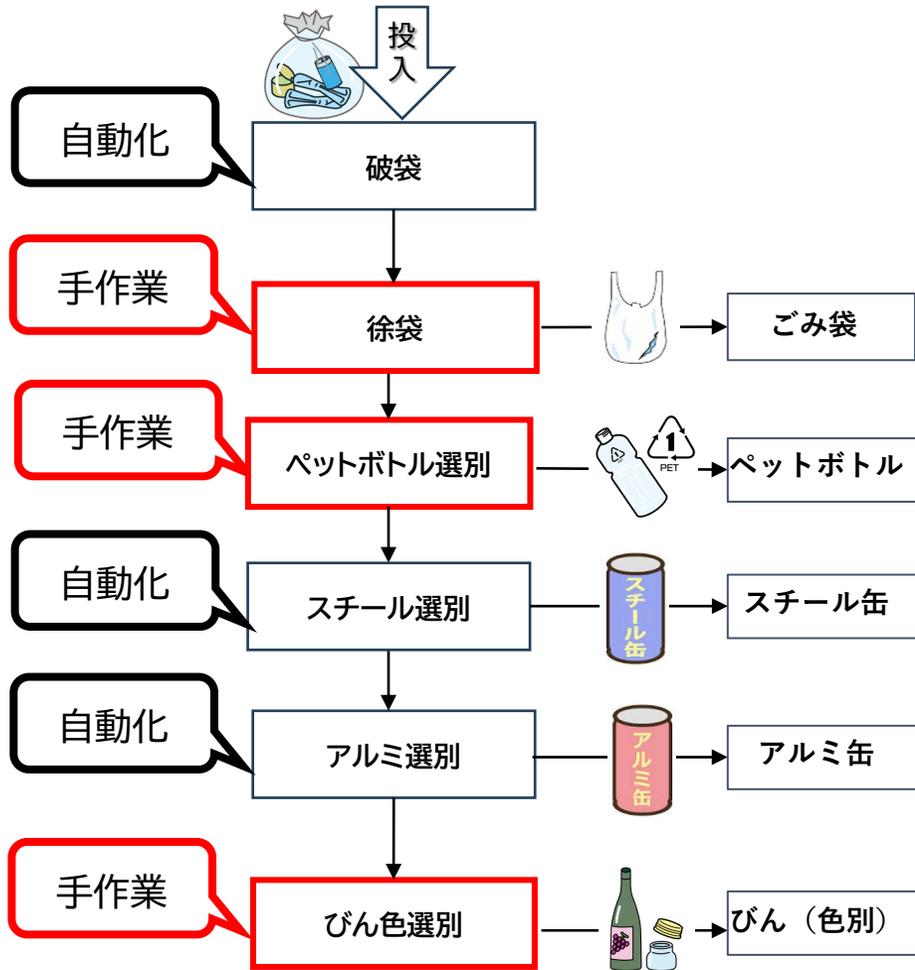
※ 缶びんペットボトル排出時のごみ袋についても、圧縮梱包後リサイクルを検討中

参考:処理対象物の組成(重量ベース)

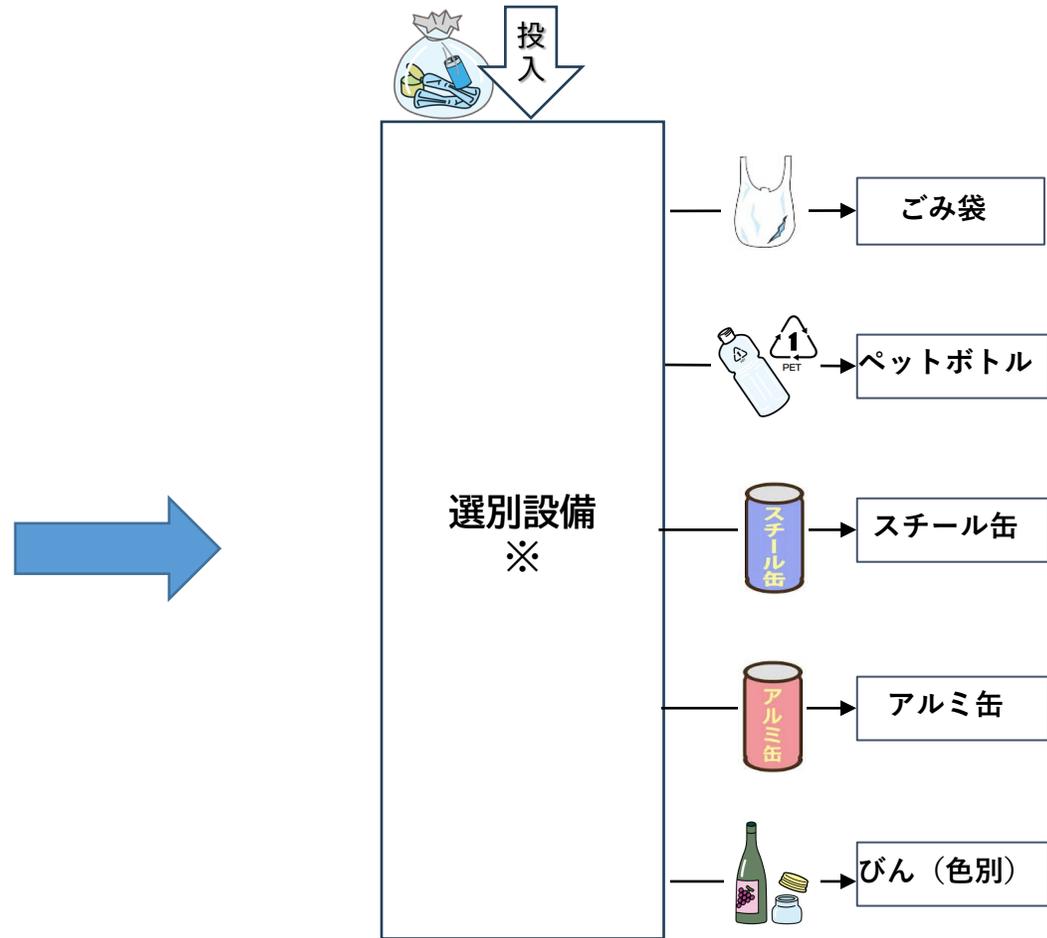
品目	スチール缶	アルミ缶	無色びん	茶びん	その他のびん	ペットボトル	残渣
割合%	7.45	9.80	16.78	10.12	10.41	25.32	20.12

体積ベースで1日あたり約860m³¹²

既存施設の処理フロー



新施設の処理フロー



※設備構成は指定しない

業務範囲分担



明日をひらく都市
OPEN X PIONEER

項目	所掌範囲	
	市	事業者
ごみの収集・運搬	○	
受付・計量・車両の誘導業務		○
施設の運転、維持管理、メンテナンス業務		○
処理後の品目の保管・積み込み		○
施設運営にかかる用役費(光熱費等)		○
引き渡し後の品目の運搬	○	
引き渡し後の品目の処理、資源化、処分	○	
有価物の売却益の帰属	○	

グループ対話でお伺いしたい事項

グループ対話でお伺いしたい事項

- ・ 本市が期待することや重視することを踏まえた最適な事業スキーム
- ・ 事業への参入意欲
- ・ 事業実施において、考慮して欲しい事項